

ブルンジ月報（2020年2月）

主要な出来事

1 内政

- 10日、5月20日予定の大統領選挙における東アフリカ共同体（EAC）選挙監視団の派遣
- 21日、CDP、RANAC、PAJUDE、FED野党4党の連立

2 経済

- 10日、ブルンジ中央銀行による全外貨両替所の営業許可取り下げ
- 18日、赤十字国際委員会（ICRC）による給水・配電設備開発計画の発表
- 21日、コーヒー価格の10%上昇

※以下は、明示的に記載したものを除き、ブルンジ・オンライン・メディア IWACU の報道の取りまとめ。

1 内政

（1）東アフリカ共同体（EAC）選挙監視団の派遣決定（10日）

10日、ムフムケコ（Amb. Libérat MFUMUKEKO）EAC事務局長は、タンザニアのアルーシャで行われたEAC諮問会議において、5月20日に予定されているブルンジ大統領選挙期間の1週間、EAC選挙監視団の派遣を決定したと発表した。同会議には、ブルンジ国家選挙管理委員会（CENI）ほか関係者が出席した。

（2）野党4党の連立（21日）

20日、ニヨンクル（Anicet NIYONKURU）CDP党首は、共同記者会見で、2020年の大統領選挙に向けて、CDP（Conseil Des Patriotes）、RANAC（Rassemblement National pour le Changement）、PAJUDE（Parti pour la justice et le développement）、FED（Forum pour l'équité, le développement et la souveraineté）の4野党が連立を組んで選挙戦に挑むと発表した。同党首は、新政党の名前は「キラ・ブルンジ（Kira Burundi）」であり、大統領選に出馬する新党首を早急に決定すると述べた。

（3）武装集団と警察の衝突（25日）

25日、ンクリキエ・ブルンジ警察報道官は、23日、武装集団が、ブジュンブラ・ルーラル地域の西側の丘に出現し、警察と数回衝突したことにより、2名の警察官が殺害され、6名の犯罪者を逮捕し、22名からなる武装集団を解体した旨発表した。なお、地方当局による24日付け発表では、武装集団のうち13名が殺害された旨発表されていた。

本事件に関し、ブルンジの主要野党「自由のための国家会議(CNL : Le Conseil national pour la liberte)」は、5月20日の大統領選挙に関係がある旨述べた。CNLによると、先週、同事件に関係しているとして、CNLの地方指導者23名がブルンジ警察に逮捕された。マニランボナCNL報道官は、21日、「2020年5月20日の選挙に先立ち、ブルンジ政府が計画した嫌がらせを非難する」と述べた。

2 経済

(1) ブルンジ歳入庁による脱税者に対する警告(7日)

6日、ルワンダ歳入庁(OBR)は、賃料を低く申告するなど虚偽の税申告を行う者がいるとし、脱税者に対して、法律に則り罰則を科すと警告した。

(2) ブルンジ中央銀行による外貨両替所の営業停止命令(11日:ロイター通信 Sharenet), 12日 IWACU)

10日、ブルンジ中央銀行は、公式為替レートと外貨両替所の為替レートの相違をなくすことを目的に、15日から全ての外貨両替所に対して営業停止を命ずると発表した。一方、公式為替レートで外貨両替を行っている商業銀行については、引き続き両替業務が許可されている。

(3) 経済専門家の外貨両替所閉鎖に対する評価(12日)

ニヨボケ(Jean Prosper NIYOBOKE)経済専門家は、ブルンジ中央銀行による外貨両替所の閉鎖について、政府が十分な外貨を供給できれば、ブルンジ・フランの暴落を防ぎ為替相場が安定するが、十分な供給ができなければ、商業活動の妨げになると述べた。

(4) 外貨両替所閉鎖に対する汚職監視団の評価(13日)

ルフィリ(Gabriel RUFYIRI)汚職監視団OLUCOME(民間の任意団体)団長は、中央銀行による両替所閉鎖は、ブルンジの外貨不足の解決になっていない上に、セメント、飲料水、砂糖などの価格を上昇させていると述べた。

(5) 赤十字国際委員会(ICRC)による給水・配電設備開発計画の発表(19日)

18日、ICRCは、2030年までのブジュンブラ市内の給水開発計画を発表した。同プロジェクトにて約8,800万米ドルが投資じられる。プロジェクト調査によると、ブルンジでは、大雨によるパイプやポンプなどインフラの損傷により無収水率は45%に及ぶ。

(6) コーヒー価格の上昇(21日)

21日、2020/21年コーヒーキャンペーン開催式において、ルレマ環境・農業・畜産大臣は、チェリー・コーヒーA(ランク)とB(ランク)の1kgの価格が、昨年と比べてそれぞれ500ブルンジ・フラン(BIF, 約16円)から

550BIF（約33円）、250BIF（約15円）から275BIF（約16円）に上昇したと発表した。

3 その他

（1）ブルンジにおける世界癌デー（5日）

4日、世界癌デーにあたり、ハリメンシ（Jean Marie HARIMENSHI）ブジュンブラ病理学センター長は、ブルンジでは、世界と比較して癌にかかる人の割合が高いと述べた。同センター長によると、ブルンジで最も罹患率が高いのは大腸癌の36%、次いで胃がんの26%である。

（2）ゴミ集積の停滞（13日）

経済首都ブジュンブラ市の北部で、3週間にわたりゴミ収集が機能しておらず、住宅地や公共の場にゴミが蓄積され、病気の発生などが懸念されている。ゴミ収集業者は、ブジュンブラ近隣の複数の収集施設の収容量が満たされてしまったと原因を説明しつつ、2月16日までに解決する見通しであると述べた。

（3）コロナウイルスに関する駐ブルンジ中国大使の談話（18日）

17日、共同記者会見において、Li Changlin 駐ブルンジ中国大使は、休暇でブルンジに帰国しているブルンジの中国留学生に対して、感染の拡大を防ぐため外出を制限するよう推奨した。

（了）